株主・投資家とのコミュニケーション

Daigasグループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、株主・投資家との建設的な対話が重要であると認識し、対話を促進するための施策や体制強化を図っています。

IR活動を通じて、経営状況や財務状況、持続的な成長に向けた取り組みについて、適時かつ公平な発信と分かりやすいご説明に努めます。また、積極的に対話の機会を拡大し、頂いたご意見や資本市場のニーズを適切に経営戦略に反映することで、株主・投資家とのより長期的な信頼関係構築を進めています。

対話の実施状況

株主・機関投資家に向けて、四半期毎の決算説明会を実施しています。WEB会議を通じた配信や、ホームページでの質疑内容の開示（日本語・英語）等、継続的に情報開示を実施しています。

また、機関投資家と経営幹部とのスモールミーティング、サステナビリティ情報や事業活動など資本市場から関心の高いテーマに特化した説明会、機関投資家との個別のIRミーティングなどを適宜実施しています。2025年度は、カーボンニュートラルの取り組みに関する説明会および、大阪・関西万博でのメタネーション実証設備見学会を複数回にわたって開催しました。

これらの活動を通じて、経営幹部が株主・投資家と直接対話を行うとともに、IR担当部署が日頃の活動を通じて得られた株主・投資家からのご意見や経営課題のご指摘については、定期的に、取締役会および経営幹部、また幅広く社内に報告し、適切に経営に反映するように努めています。

主な対話のテーマ

- 中長期の事業戦略（国内外の成長ドライバー、脱炭素社会への対応等）
- 財務戦略（キャッシュアロケーションの考え方、今後の成長投資戦略、株主還元方針等）
- 直近の業績（実力利益の推移、各セグメントの状況等）
- サステナビリティの取り組み（CO_2排出量削減目標の進捗、人的資本戦略、ガバナンスの取り組み等）

IR活動の体制

（i）統括責任者

株主・投資家との対話は、代表取締役副社長 CFOが統括します。

（ii）推進体制

代表取締役副社長 CFOの統括のもと、企画部のIR担当部署が責任部署として、推進しています。対話のテーマに応じて、財務部、広報部、総務部等のコーポレート部門や各事業部などの関連組織とも、有機的に連携して対応していきます。

2025年度活動実績一覧

代表取締役社長 CEO	株主総会、経営計画説明会、国内機関投資家とのスモールミーティング、海外機関投資家との対話（8回）
代表取締役副社長 CFO	株主総会、海外機関投資家との対話（14回）
社外取締役	国内機関投資家とのスモールミーティング 詳細は P.43をご覧ください
IR 担当部署	経営計画説明会、決算説明会、事業見学会、個人投資家向け説明会、投資家との対話約180回（セルサイドアナリストとの対話（約30回）、国内機関投資家との対話（約75回）、海外機関投資家との対話（約75回）等）
SR 担当部署	国内株主との対話（15回）

株主・投資家からの主なご意見と対応

対話のなかで頂いたご意見	対応
株主還元の原資を自己株式の取得に使うのもよいが、増配にも振り向けてほしい。	2025年度の中間配当より、「株主資本配当率（DOE）」を3.0%から3.5%に変更し、増配。
中期経営計画2026の目標達成の信頼性向上のために、情報開示を強化してほしい。	ROIC・ROE目標を達成できる利益水準を目指していることを明記。その内訳として、当初想定していた利益から増益が見込まれる要素を開示。
事業戦略について、より具体的な内容を分かりやすく開示してほしい。	各事業の「市場環境の認識」と「当社グループの戦略」について、より具体的な内容を開示。